

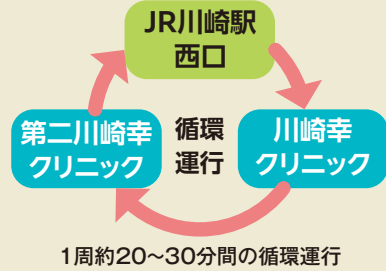
あおぞら

**JR川崎駅から各クリニックまで
シャトルバスを運行しております、
ご利用ください。**

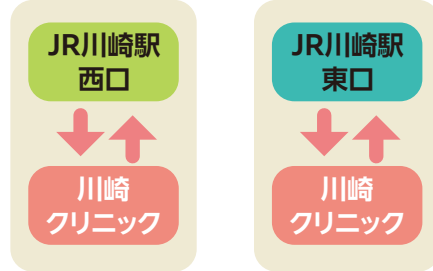
バスをご利用の方は、
必ず **マスク** をつけてください。

**現在、川崎幸病院経由のシャトルバスの運行は、
全便運休しております。**

川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニック
西口シャトルバスのりば（一般車乗降場）



川崎クリニック
西口・東口シャトルバスのりば（一般車乗降場）



川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニック

<時刻表>（平日・土曜午前 ※土曜午後、日曜、祝日は運行なし）			
	乗り場	月曜日～金曜日	土曜日
始発	JR川崎駅西口	8:15	8:15
最終	川崎幸クリニック	16:40	13:00
	第二川崎幸クリニック	17:00	

※ご利用される方々の状況により、到着時間が遅れる場合があります。
※道路状況・利用状況により、所要時間が変わる場合があります。



シャトルバスは定員 9 名の
ワンボックスカーです。

川崎クリニック ◀◀西口		川崎クリニック ◀◀東口		
運行は月～土曜日(祝日含む)、日曜日は運行していません。				
時	川崎クリニック発 川崎駅西口行	川崎駅西口発 川崎クリニック行	川崎クリニック発 川崎駅東口行	川崎駅東口発 川崎クリニック行
8		15 45		15 30 45
9 ～ 12	この時間帯は運行していません			
13	30	45	20 40	30 50
14	00 30		00 20 40	
15	00		00	

※シャトルバスのご利用条件は、川崎クリニックにて外来受診した方および透析患者様
となっています。 バスのみの利用はご遠慮ください。※川崎クリニック発西口シャトルバ
スをご利用の方で、川崎幸病院、川崎幸クリニックへご受診の方は、途中下車が可能です。
運転手にご用命ください。※川崎クリニック発のシャトルバスは1F薬局側からの出
発となります。出発前に御声掛け致しますので1F薬局横の待合室にてお待ちください。

※ご利用される方々の状況により、乗車できない場合があります。
※道路状況・利用状況により、所要時間が遅れる場合があります。
※満員の場合は出発時間を待たずに発車する場合があります。

救急・急性期医療・放射線治療・透析治療
川崎幸病院
TEL:044-544-4611(代)

一般外来
川崎幸クリニック
外来予約:044-511-2112

透析治療・一般外来
さいわい鹿島田クリニック
外来予約:044-556-2722

脳神経外科他
新緑脳神経外科
TEL:045-355-3600

一般外来・入院診療
横浜石心会病院
外来予約:045-581-1417

一般外来
第二川崎幸クリニック
外来予約:044-511-2112

人間ドック・生活習慣病健診
アルファメディック・クリニック
予約:044-511-6116

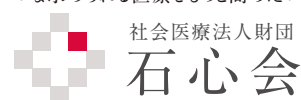
在宅事業部
在宅医療・在宅看護・在宅介護
さいわい訪問看護ステーション
新川崎居宅介護支援事業所
福祉用具レンタルさいわい
かしまだ地域包括支援センター

一般外来・入院診療
川崎地域ケア病院
TEL:044-544-6111

透析治療・一般外来
川崎クリニック
外来予約:044-222-9259
透析センター:044-211-6500

生活習慣病健診・一般健診
川崎健診クリニック
予約:044-511-6116

いま求められる医療をもっと高めたい



社会医療法人財団
石心会

川崎幸病院／横浜石心会病院／川崎地域ケア病院／川崎幸クリニック／第二川崎幸クリニック／川崎クリニック／さいわい鹿島田クリニック／新緑脳神経外科／アルファメディック・クリニック／川崎健診クリニック／
石心会グループ在宅事業部 発行責任者・編集長：杉山 孝博 〒210-0024 川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング3階 電話：044-381-3366(代) Web：https://www.sekishinkai.or.jp

特集

地域の安心を支える病院へ
～川崎幸病院・新院長インタビュー～

2026

夏号

ご自由にお持ちください



地域の安心を支える病院へ 川崎幸病院・新院長インタビュー

川崎幸病院の新院長に石井耕士医師が就任いたしました。9年前まで同院の整形外科および救急・総合診療科の医師として地域医療に携わり、その後、系列の埼玉石心会病院での院長を経て、このたび再び川崎幸病院の院長として戻ってきました。石井院長に川崎幸病院のこれからの医療についてお伺いしました。



川崎幸病院
石井 耕士 院長

地域全体で患者さんを支え、
地域からの期待と信頼に応えたい

>> 9年ぶりに川崎に戻りましたが、何か変化
を感じますか？

クリニック等に通院されていて入院される患者さん（予定入院）が、当時よりも多くなっています。

予定入院は、患者さんご自身ならびに地域の医療機関の皆さんが「川崎幸病院での治療」を選んでくださった結果ですので、これからもその信頼と期待に応えられる病院であり続けなくてはいけないと襟を正す思いです。

>> これから力を入れていきたいことは何でしょう？

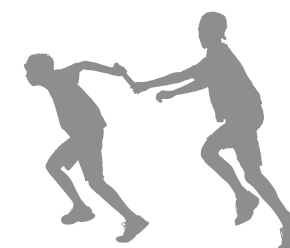
今、医療は一つの病院だけで完結する時代ではありません。

診療所やクリニック、急性期・回復期病院、介護施設、行政など、様々な機関それぞれが担った役割を全うしつつ、互いに協力し、地域全体で患者さんを支えています。

当院で手術や急性期治療を終えた患者さんには、連携している医療機関に転院をしていただくことが多いのですが、その後も医療を安心して受けていただくための取り組みはして行きたいです。

例えば、手術をした当院の担当医が、患者さんが転院した連携医療機関に、様子を伺いに出向くといった取り組みがあっても良いと考えています。それにより、患者さんも連携先の医療機関も安心していただけるのではないかと考えています。

地域医療を担う一員として、当院も地域の皆さんとの関係を積極的に築いていきたいです。



医療の質を高め続けていく

>> 川崎幸病院はこれまでも救急医療に力を入れてきました

救急医療は地域医療の要ですので、更に力を入れていきたいと考えています。

「いざという時には川崎幸病院がある」

地域の皆さんにそう思って頂ける精神的な支えとなる病院でいることが使命だと思っています。それには、救急医療が必要な患者さんを断らずに受け入れる病院でなくてはなりません。

近い将来、日本では地域の限られた医療資源を有効活用するため、高度ながん治療、高次救命医療などの高度専門的な医療や緊急度の高い救急・手術等を中核病院に集約する医療提供体制になっていきます。

現在も行っている、患者さんを「地域で診る」という医療体制を、より強化していく必要があると感じています。

「患者さん自身が、自分の症状が救急だと思えば救急である」ということも大切です。

患者さんは、ご自身の症状はどういった状態なのか、疾患の重さの度合までは分かりません。今の痛みや苦しみの助けを求めて病院にやってきます。

それを「この疾患はうちの病院に来るレベルではない」や「この疾患は受けられません」と、診療を断ることは、医療者側の都合です。

川崎幸病院は、患者さんから助けを求められ時、迷わず手を差し伸べ、最善の医療を提供できる病院でい続けられるよう、私たちも向上し続けなくてはなりません。

>> 川崎大動脈センター、川崎心臓病センター、脳神経外科（脳血管センター・低侵襲脊椎椎骨センター）といった専門に特化したセンターもあります

高い専門性はもちろん、複数の疾患に対して横断



的な診療が可能な総合病院としての質も今以上に高めていきたいです。

専門性が高まれば、患者さんに安心と治療の選択肢を提供することができます。また、「いざという時、ここで診てもらえば大丈夫」と思ってもらえるように、どのような病気にも総合的に対応できる力を向上させていきたいです。

地域の皆さんへ

私たちは、川崎幸病院をはじめとするグループ全体で連携し、地域の皆さまの健康を支えてまいります。

日頃の健康づくりには、「みんなの健康塾」で、無料で医療・健康情報を発信していますので、

高い専門性を持つ医療のスペシャリスト達が揃う、質の高い総合病院を目指します。

>> 石心会グループには、外来・透析・健診を担うクリニックがあり、それらとの連携はどのように考えていますか？

地域の医療機関との連携を深めたいと申し上げましたが、川崎市と横浜市鶴見区にグループ施設が複数あり、このことも現在の質の高い医療にもつながっています。

例えば、同グループで健診を手掛けるアルファメディック・クリニックや川崎健診クリニックで健康診断を受けたとします。その結果で気になる項目がある場合、川崎幸クリニックや第二川崎幸クリニックとはカルテや健診結果をデジタル上で共有しているので、外来受診の際に、改めて検査を受けなくても良くなります。また、万が一、手術が必要な重篤な疾患が見つかった際には、川崎幸病院への診察につながれる場合があります。

健診から受診・手術までがワンストップでグループ内にて対応できることは、患者さんにとって体の負担や時間の短縮にもなるかと思います。

石井耕士 川崎幸病院 院長 プロフィール

2001年北里大学医学部卒業。2001年～2003年湘南鎌倉総合病院での初期研修を経て、2004年横浜市立大学整形外科入局。2012年川崎幸病院整形外科、2015年同院救急・総合診療科を兼務。2017年埼玉石心会病院副院長に就任し、ER総合診療センター長を兼務。2021年6月同院院長に就任。2026年5月より川崎幸病院院長に就任。

是非お役立てください。

困った時には「川崎幸病院があるから安心だ」と感じていただけるよう、これからも地域とともに歩み、安心と健康を支え続けてまいります。



横浜石心会病院『新入院棟』オープン

横浜石心会病院が、より快適で質の高い療養環境を提供するため、2026年4月に新入院棟がオープンいたしました。

最新の設備を備えた個室も多数ご用意し、患者様一人ひとりのプライバシーと快適性を重視した設計となっております。

ただいま年内のフルオープンに向け、外来棟の改修工事により、ご不便、ご迷惑をおかけしております。

患者さんが快適かつ安心して医療を受けられる環境作りを今後も進めてまいります。



外来・お問合せ

TEL : 045-581-1417

受付時間：月～金 8：30-17：00 土 8：30-12：00

(当院は予約制となっております)



横浜石心会病院 Web

第二川崎幸クリニック 『ジャパン・マンモグラフィー・サンデー』に参加



第二川崎幸クリニックは、10月18日の日曜日に「J.M.S」(ジャパン・マンモグラフィー・サンデー)に参加いたします。

「J.M.Sとは、子育て・介護・仕事・家事などで忙しく、平日に検診を受けに行きにくい女性の皆さんが、休日の日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう、全国の医療機関と認定NPO法人J.POSHが協力して毎年10月第3日曜日に「乳がん検診」を受診できる環境づくりへの取り組みです。

皆さんが検診を受けるきっかけのひとつになれば幸いです。

検査内容や費用などの詳細はWebサイトをご覧ください。



第二川崎幸クリニック Web

お問合せ・申込み 第二川崎幸クリニック 健診担当

TEL : 044-511-1322 受付時間：平日：9：00～16：30



鶴見区特化型ポータルサイト これつる～日日是つるみ～

横浜市鶴見区特化型
ポータルサイト



一日日是つるみ

鶴見区特化型ポータルサイト これつる～日日(にちにち)是つるみ～は、「鶴見区への移住・定住者を増やすこと」を最終目標に2022年9月に開設いたしました。

「鶴見のため」をモットーに、横浜市鶴見区のあらゆる情報、人、モノ、コト、歴史に伝統文化、あの人の熱い思いまでをすくい取り、それらを発信することで社会貢献を果たしていく情報サイトです。

さらに情報発信に留まらず、イベントの企画・運営やまちづくりに関する課題解決等のお手伝いも実施。住みやすい鶴見を目指して、まちの「面白さ、や「魅力、を区内外の皆さんに発信しています。

各種SNSでも情報を発信中です。

ぜひ身近な情報収集にご活用ください。

【サイト情報】

サイト名：鶴見区特化型ポータルサイト

これつる～日日(にちにち)是つるみ～

Webサイト：https://www.koretsuru263.com/



病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

「みんなの健康塾ちゃんねる」情報

みんなの健康塾ちゃんねるは、地域の皆さんの健康維持・増進、疾病の早期発見・早期治療に役立てていただけるよう、また医療を身近に感じていただくことを目的に、健康・医療の情報発信をしております。

Webサイトでは動画の他、トレーニングやレシピを掲載した冊子、学校向けダウンロード教材をご覧ください。また紙媒体毎月「みんなの健康塾ちゃんねるポケット版」を定期的に発行しております。



注目のコンテンツ



【泌尿器科医監修】

前立腺がん～PSA検査から診断・治療までの流れ

第二川崎幸クリニック

泌尿器科

加藤 温 医師



役に立つ
情報が
いっぱい

WEB

詳細はこちら

みんなの健康塾ちゃんねる

検索



公式LINEは

こちら

